



お客さん手作りの店名プレートと置き物が夫婦の宝物

伊藤 寿章さん(62)
玲子さん(57)

＝水沢区真城字東鶴巻＝

雨の日も晴れの日も
●どんなときも一緒に素敵な夫婦を紹介

お好み焼きや大判焼きなど提供する「ほけっとハウス」。水沢商業高校近くの本店を寿章さんが、水沢駅前店を玲子さんが切り盛りしています。寿章さんは元板前。勤務先の寿司屋で、従業員の玲子さんと出会いました。自分の店を出すことを夢見た二人は、昭和62年にほけっとハウス本店を開店。駅前店は平成13年、先代の夫婦が30年以上前から駅前で販売していた「栗入り

大判焼き」の味を玲子さんが受け継いでスタート。同じ場所でも変わらず愛され続けています。本店ではカレーやラーメンが人気。「常連はもちろんだけど、普通つてくれた学生が大人になって来てくれるのがまたうれしい」と笑顔の寿章さん。「おいしい」や「また来ます」の言葉がうれしい」と、玲子さんと声を揃えます。店舗こそ離れているものの、仕事以外では買い物など常に一緒だという伊藤夫妻。「いつも支えてもらっています。夫婦で大切なのはお互い思いやること。これからも健康でいてほしい」と玲子さんは優しくほほえみ、寿章さんは「ずっと一緒にいたい」と照れ笑いを浮かべました。現在は子ども3人と孫10人に恵まれ、自動車で小旅行に出かけるのが趣味という二人。「車で日本一周するのが夢」と、目を輝かせていました。

15



きくち あやか さん
菊地 彩華 さん
(衣川区・衣川小学校6年)

Interview

夢トク 将来の夢は 51 「ファッションデザイナー」

——学校での役割は？

児童会執行部の議長で、行事の司会などをしています。運動会や学習発表会など、全校で一生懸命取り組んだ行事が成功すると、とてもうれしいです。

——普段、どんなことをして遊んでいますか？

週に1～2回、クラス全員で「学級遊び」をしているのですが、最近は長縄跳びに挑戦しています。この前は、3分間で327回跳ぶことに成功しました！

——がんばっていることは？

ミニバスケットボールです。こ

とし5月にできたスポーツ少年団の女子チームで、仲間と一緒に楽しくプレーしています。中学生になったらバスケットボール部に入って、試合に出てみたいです。

——将来の夢を教えてください。

ファッションデザイナーになることが夢です。絵を描くことが好きだし、服も大好き！資格を取れるように、勉強をがんばります。

——どんな服をデザインしたい？

みんなが喜んでくれる服。震災復興のためにもなれるように、私の服で人を元気にしたいです。



中高生の部活動や
委員会活動を紹介

15

青春讃歌

水沢商業高校
野球部

◎部員数 25人

◎顧問 小山 智之 先生

◎主将 鈴木 拓実 君(2年)

辛い練習も“いい顔”で 目指すは甲子園

午後5時、すでに夕闇に包まれたグラウンドで、威勢のいい掛け声と共にひたすらバットを振る水沢商業高校野球部。冬場は夕方すぐに暗くなってしまうため、素振りを中心としたバッティング練習に力を入れています。「冬場の練習はきついけど“いい顔”で臨もうと話しています」と鈴木主将。苦しさや辛さは顔に出さず、笑顔で——。実践するうちに自然と声が出るようになり、練習中の雰囲気良くなったといいます。

「目標は甲子園出場」——鈴木主将は力強く語ります。高校野球をするからには、誰もが憧れる夢の舞台。「中途半端な練習をしては出場などできない。自分たちに何が必要か、何をすべきか考えながら練習している」と、胆江勢として初の甲子園出場へ強い意志を見せます。来年3月には、実際に甲子園球場へ選抜高校野球

大会を見に行き、近畿・四国地方の甲子園常連校との練習試合も組んでいるという同部。「強豪校との試合を通して、しっかり学んで吸収して来たい。点を取れたらうれしい」と、鈴木主将は爽やかに笑いました。

小山監督は「甲子園という1つの目標に向かうことで、人としても成長できる。応援してくれる地域への感謝を忘れず、一緒にがんばっていこう」と部員たちにエールを送ります。

元気なあいさつやごみ拾いなどで、地元から愛される部員たち。バットに夢を寄せ、厳しい冬場の練習に挑みます。



真っ暗になっても必死にバットを振り続ける



ことしはいよいよ残りわずかとなりましたが、皆さまいかがお過ごしですか。

肉質日本最高峰を誇る前沢牛が4年ぶりに日本一、そして2冠を達成しました。全国肉用牛枝肉共励会で千葉辰美さんが最高賞となる名誉賞、全畜連肉用牛枝肉共進会では後藤久次さんが最優秀賞を受賞。屈指のブランド力を誇る前沢牛の肉質の高さが証明され、うれしい限りです。受賞は地元生産者と市民の励みとなります。生産者の確かなものを作り育てる力と前沢牛の歴史の力を実感いたしました。先月、江刺りんごの主力品種「サンふじ」の初競りが行われ、特選1ケースが100万円の高値で落札されました。今年は台風19号の影響を受けたものの、例年に比べて味や色、品質も良いとのこと。

前沢牛や江刺りんごのブランドがさらに広がることにより、市全体の農産物の活性化につながることを願います。

先月、京都の清水寺で行われたアテルイ・モレの碑の法要に出席しました。建碑20周年の節目を迎えた今回の法要では、水沢区羽田町の伊藤流行山鹿踊などが披露されました。森清範貫主を導師とする全山僧侶の読経に合わせて参列者が焼香し、アテルイ・モレの遺徳をしのびました。これからも清水寺とアテルイ・モレとの縁を大切にし、後世に引き継いでまいります。

ご当地ナンバー「平泉ナンバー」の交付が先月より始まっています。交付を記念し、公用車に取り付けられた新プレートが平泉町の中尊寺金色堂の前でお披露目しました。交付対象地域の一関、奥州、金ケ崎、平泉の4市町が固い絆で結ばれる第一歩となることを願い、ナンバーを「1」としました。世界遺産の平泉を発信するとともに、市の活性化を図ってまいります。

奥州市長 小沢昌記